

工事現場で芽生えた友情

Guinea ギニア



どんな困難も希望に変える笑顔が、現場にはある。

ギニアの首都コナクリから東へ約50kmに位置するコヤ市。今、ここにはエボラ出血熱患者の隔離施設がある。と同時に、国民の期待を集めるカアカ橋の工事現場がある。

カアカ橋は、ギニアと周辺国を結ぶ重要な橋だ。ギニアはこの橋に物流の多くを頼っているが、建設から60年以上が経ち、老朽化したため、日本の協力で改修中だった。

しかし、2014年8月、このカアカ橋を建設していた日本人スタッフが、エボラ出血熱の発生を受けてやむなく退避となった。工事も止まった。

しかし、工事現場で芽生えた友情・熱い思いは、日本人がいなくなった今も変わらず続く。ギニア人スタッフは、今でも毎朝日本式のラジオ体操をし、資機材を厳重に保管して、日本人スタッフたちが戻ってくることを心待ちにしている。カアカ橋完成後の笑顔が今から楽しみだ。



撮影：北原常人（ワールドアクトジャパン）

あなたの作品募集中！

「my photo」では、あなたが撮影した写真を募集しています。貧困や環境問題などをテーマにした写真、国内外問わず国際協力の最前線で活動に励む日本人や開発途上国の人の姿、テレビや新聞ではなかなか報じられない土地の風景や人々の暮らしなど、国際協力や途上国を身近に感じられる写真を、撮影時のエピソードを添えてご応募ください。応募作品の中から毎号1枚、本コーナーで紹介させていただきます。

応募条件 ①応募者本人が撮影した作品に限ります。②被写体に関する肖像権は、応募者の責任において了解が得られているものとします。③写真は、解像度が300万画素以上(目安)で撮影されていること、また画像の記録形式はJPEGを推奨します。

応募方法 お名前、連絡先(電話番号とEメール)、エピソード(300～350字)、記名の可否をご記入の上、写真と共に応募先アドレスまでEメールでお送りください。

*応募作品は本コーナーの他に、事前確認の上でJICAの広報活動に活用させていただく場合があります。ご記入いただいた個人情報はこちら以外の目的では使用いたしません。また、応募作品はご返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

応募 / 問い合わせ先

jica-photo@idj.co.jp

(「mundi」編集部宛)